

## 第 2 回 選定委員会 会議録（要旨）

会議の名称	第 2 回環境施設等の建設に係る事業者選定委員会
開催日時	令和 6 年 3 月 7 日（木） 18：00～20：15
開催場所	飯塚市役所 5 階 研修室
出席委員 【9 名】	依田委員長、井澤副委員長、楠元委員、鐘ヶ江委員、矢次委員、久世委員、山田委員、山邊委員 【オンライン出席】藤山委員
欠席委員	なし
事務局 【9 名】	【施設組合】永岡局長、松下次長、星野参与、秋吉係長、杉丸室長 藤田補佐、尾崎、今泉、園田 【事務局支援】パシフィックコンサルタンツ株式会社
構成市町 【4 名】	【担当課長】小村課長、尾形課長、高野課長、永松課長
内 容	<p>1 開会</p> <p>今後の施設建設事業者の選定への審議に影響があるため、本日議題の（3）一般廃棄物処理施設建設及び運営事業評価基準(案)の審議から、以降会議の内容を非公開とすべきではと委員長から提案があり、委員会にて全会一致の同意がなされた。</p> <p>2 議題</p> <p>(1) 一般廃棄物処理施設建設及び運営事業 実施方針（案）について</p> <p>質問：リスク分担の「△」従分担の意味を知りたい。</p> <p>回答：一定の範囲は事業者でリスクを負う部分を「△」従分担としている。</p> <p>質問：基本契約は本事業を構成する 4 つの分類の企業と SPC の合計 5 つの企業体と契約を締結するのか。</p> <p>回答：ご認識のとおりである。</p> <p>質問：議決対象はどの契約とするか。</p> <p>回答：現在の方針としては特定事業契約全体で議決をとる。</p> <p>質問：副生成物の全量利活用について、最終処分の活用は想定されるか。</p> <p>回答：基本的には資源化を進めていきたいが、資源化できない部分は一時的な措置として一部最終処分も検討していく必要がある</p>

る。

質問：事業スキームは例示として示しているのか、それとも公募段階で決定して示すものか。

回答：提示した事業スキームで契約を締結することになる。複数の企業で役割を担うことも想定されるため企業数は増えることも想定される。

(2) 一般廃棄物処理施設建設及び運営事業 基本計画・基本設計（案）について

質問：この委員会は事業者選定委員会であるが、この委員会で説明したことにより実施方針（案）及び基本計画（案）の案が取れるということにはなるとは考えてはないか。

回答：そういった解釈はしていない。事業者選定にあたって事業概要をお示しするため説明している。

質問：表 1-2 で示す（1）というのは表 1-1 で示す国の定める計画という認識でよいか。

回答：ご理解のとおりである。

質問：プラスチックの計画ごみ質について、地域性も考慮されているか。

回答：プラスチック分別収集量見込みが過大設定とならないよう、都市モデルではあるが実際に実証実験をした結果に基づき推計した。

(3) 一般廃棄物処理施設建設及び運営事業 評価基準（案）について  
<非公開>

(4) 一般廃棄物処理施設建設及び運営事業 募集要項（案）について  
<非公開>

(5) 一般廃棄物処理施設建設及び運営事業 要求水準書（案）について  
<非公開>

3 その他

4 閉会

配付資料	1 実施方針（案） 2 基本計画・基本設計書（案） 3 評価基準の考え方について（案） 4-1 募集要項（概要）（案） 4-2 募集要項（別紙）（案） 5-1 要求水準書（設計建設業務編）（案） 5-2 要求水準書（管理運営業務編）（案）
公開・ 非公開の 別	1 公開 <input checked="" type="checkbox"/> 一部公開    3 非公開 (傍聴者 5 人)
その他	